

湖畔の風

★第10回 田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

4月23日(日) 海洋センターを会場に田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会が開催されました。

参加者は、83名(うち田瀬住民30名)。大高瀬(遠野市)と田瀬大橋付近、ダム堰堤方面に別れて、ゴミの回収を行いました。

回収したゴミの量は、総合計が670kg、内訳は可燃ゴミ 330kg、不燃ゴミ 340kgでした。

その後、ロープワークの講習会、ゴミ川柳大会がおこなわれ、入選者には各団体より記念品が贈られました。入選された方は次のとおりです。(選者・遠野川柳会)



地元消防団員も参加

ごみ川柳 入選作



- | | | |
|----------------|---------------------------------|--------|
| 田瀬振興公社A賞 | 流れつく ゴミを拾うの 下流の人 (田瀬) | 菅谷 正孝 |
| 田瀬振興公社B賞 | 曇天で 今年はいたな 雨男 (田瀬ダム管理支所) | 藤原 勝 |
| B&G東和海洋センターA賞 | ポイ捨てをやめない人を捨てたいな (田瀬) | 菅原 政二 |
| 猿ヶ石川漁業協同組合賞 | 腰の痛みに耐えながら (新日本工営株) | 川崎 一 |
| 遠野風の丘賞 | 減らそうよ お腹の脂肪と ゴミの山 (海洋センター) | 多田 敏彦 |
| 上猿ヶ石川漁業協同組合賞 | コロナ減る されど田瀬湖の ゴミ減らず (田瀬) | 女鹿 安志 |
| たかむろ水光園A賞 | プラスチック 分ければ資源 捨てるなよ (南部森林管理支署) | 吉永 雄弘 |
| 森田酒店A賞 | 限りなく 無心に拾う ゴミの山 (田瀬) | 山口 十九子 |
| 森田酒店B賞 | 10回目 人は減るけど ゴミ減らず (新日本工営株) | 平賀 友寿 |
| 柏木平レイクリゾートA賞 | 欲しいもの 何でも揃う ゴミの山 (遠野川柳会) | 加藤 宏泰 |
| 柏木平レイクリゾートB賞 | ゴミひろい スカッとさせたぜ ねむいけど (江刺土地改良区) | 千葉 智浩 |
| 岩手南部森林管理署遠野支署賞 | ポイ捨てが 未来のぼくらを 苦しめる (猿ヶ石北部土地改良区) | 天瀬 和真 |
| たかむろ水光園賞B賞 | 毎日の SDGs 減らすゴミ (田瀬) | 小田島 功一 |

当時、蒼前神社（以下「神社」）は、中通地区の蓬田というところであって牛馬の神さまとして田瀬だけではなく江刺や遠野など近隣からも参拝する人で多く賑わっていました。

しかし、昭和16年に田瀬ダム建設が国家事業として認められると、神社も移転対象となっていました。当時の別当は自らも移転者で遠野への移転となったので、神社の由来(後述)を考えると、神社移転先を遠野移転とするのは躊躇せざるを得ませんでした。

そうしているうちに、大半の移転が決まった昭和19年、太平洋戦争の悪化に伴い、田瀬ダム建設は中断されてしまいました。戦後の状況からダム建設は白紙かとおもわれましたが、アイオン、キャサリンという大型台風が猿ヶ石川流域に甚大な被害をもたらしたことから、昭和25年10月に工事再開が決定され、神社は昭和26年9月19日に残った氏子の手によって大野の民有地に移転して水没を免れました。

蒼前神社の由来

蒼前神社は駒形神社とも呼ばれ、祭神は駒形大神(こまがたのおおかみ)です。江刺・岩谷堂の城主であった江刺兵庫頭重恒は天正18年(1580)豊臣秀吉の奥羽仕置により領地を没収され、南部家を頼って田瀬に亡命しました。この時、重恒の奥方の愛馬が亡くなったので、その愛馬を祀ったのが神社の始まりといわれています。馬と蚕の守護神とされ、馬頭観音又は大日如来と習合されています。神社は当初、中通の蓬田(現在の宿集落の下の水面下)にありました。

記録によると、寛政6年(1796)の別当は法治助、天保10年(1840)には弥次郎。万延元年(1860)に屋根の吹き替えを行いました。

明治19年に別当となった阿部伝次郎は、明治29年に社殿を改築しました。阿部由松、喜佐衛門等が浄財を寄進、棟梁は内川目の佐々木某だったといえます。

昭和9年に屋根の葺き替えと社殿の改築をしていますが、大工は地元の阿部定吉、熊谷孫助。神職は曾我富詞、別当の阿部清松は55歳、同じく別当補の阿部喜代松は66歳、新たに鳥居を寄付した菅原ヨシエ26歳だったと記録されています。

大野に移転した当時(昭和26年)の神職は曾我熊定、別当は阿部繁雄。移転神事には小田代武治、内館巳代治、大隅長吾の三名が神楽を奉納しました。その後、阿部伊勢蔵が別当に、昭和53年には阿部清人、59年には阿部タミが別当に就任しました。

しかし、昭和49年神社境内地が観光開発で進出してきた西部鉄道の所有となり、神社の移転を求められていました。

平成13年には蒼前神社移転建設委員会(内館篤夫委員長)を組織して、旧地である宿集落に岩手県がマイロード事業として完成した宿の江刺館跡展望駐車場の一画に移転すべく、「駐車場の休憩ゾーンの片隅にある神社は、運転者の心を和ませるものとしてふさわしい」と県に要望しましたが、公共施設区域内に宗教施設の建設を認めないとの回答に、委員会ではやむなく、嘗て江刺氏の菩提寺であり、薬師堂も移転建築している興禪院の境内地に移転しました。総経費は130万円でした。

創建当時は、修験宗(山伏)により祭事を行っていましたが明治5年の神仏分離令により神式に改められました。しかしながら、信者の多くは神仏習合時代の本地佛・馬頭観音を信仰し、敷地内の石碑も馬頭観音であることから、大正時代には澤里シゲが馬頭観音像を寄進し、拝殿の蒼前神社ご神体右に、厨子に納めて安置しました。馬頭観音は六観音の一つで、普通、観音さまといえば穏やかで女性的ですが、この馬頭観音像は目を吊り上げ怒りの表情で、頭に馬の宝冠をかぶっています。馬頭は諸悪魔を下す力を象徴し、煩惱を断つ功德があるといわれています。しかし、一般には馬の無病息災の守り神として信仰されました。

管理は、近隣の有志で組織された蒼前神社奉賛会(澤里政二会長、事務局・興禅院)が行っています。

興禅院では、観音堂として位置づけ、事実上維持管理にあたっています。

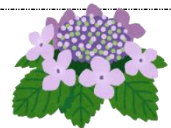


興禅院駐車場にある観音堂



馬頭観音

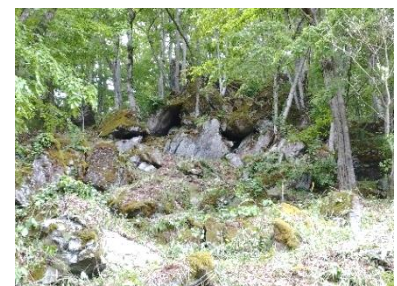
★ 砥森山登山道・作業道整備と貞任の隠れ岩景観整備



4月25日恒例の砥森山登山道整備。倒木の除去作業・草の刈り払いを行い、無事登山道の整備を終了いたしました。頂上では今年の安全祈願をしてきました。



5月16日砥森山跡までの作業道整備を行いました。駐車場より約1km。坑道口までの道路を整備しました。



5月23日「安倍貞任隠れ岩」付近の景観整備を行いました。

★田瀬釣り公園オープン

4月29日（土）から田瀬釣り公園がオープンいたしました。市内外から親子連れなどで鯉釣りを楽しんでいます。併設された、オートキャンプ場も営業しております。

詳しくは下記までお問い合わせください。

- 営業時間：午前9時から午後6時（利用時間）
- 定休日：月曜
- お問い合わせ：田瀬釣り公園 電話：0198-44-5007



6月の行事予定

- 特定検診 6月8日(木) 10時～
- 各部会（保健福祉部会・防災部会・総務企画部会・産業振興部会）
- 教振総会・生涯学習事業推進委員会 6月15日(木)
18時30分～

7月の行事予定

- 世代間交流グランドゴルフ大会 7月15日(土)
- 湖水まつり 7月29日(土)30日(日)＜花火は29日＞



諸事情により、変更になることがあります。ご了承ください。

田瀬地区の人口

（令和5年4月末現在）

行政区	世帯数	人数			比較 (3月末)
		男	女	計	
田瀬第1	68	81	90	171	—
田瀬第2	28	31	34	65	—
田瀬第3	72	73	88	161	—
計	168	185	212	397	—

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで